

シマムセンオーディオ試聴会 (2023.8.26)

—Sonus faber Amati G5 試聴会—

1. はじめに

シマムセン CYMA で開催された Sonus faber Amati G5 と Brumestar のアンプの試聴会に行ってきました。

2. 開催要項と使用機器

開催要項は下記のとおりで、8月26日(土) 13:00~14:00 のプログラムに参加しました。

スケジュールと使用機器は以下のとおりです。

Sonus faber ARTISAN OF SOUND **8/26(土)**
Burmester ART FOR THE EAR **8/27(日)** **Amati G5 試聴会**

スピーカー
Sonus faber/Amati G5
¥5,940,000円

パワーアンプ
Burmester/216
¥4,875,000円

第①部 13:00~14:00
第②部 14:30~15:30
*両日とも

プリアンプ: Burmester/088
CDプレーヤー: Burmester/061
アナログプレーヤー: Dr. Feickrt/Blackbird2
トーンアーム: KLAUDIO/ARM-AP12
オーディオラック: Bassocontinuo/Classic line

会場: CYMA 2F試聴室
講師: 輸入代理店担当者
予約制につき
ご予約お願いします

日時	2023年8月26日(土)
	13:00~14:00 Sonus faber / Amati G5 製品試聴会
	14:30~15:30 Burmester / 216 試聴会
	講師: 輸入代理店担当者
日時	2023年8月27日(日)
	13:00~14:00 Sonus faber / Amati G5 製品試聴会

	<p>14 : 30~15 : 30 Burmester / 216 試聴会</p> <p>講師 : 輸入代理店担当者</p> <p>[使用機材リスト]</p> <p>◇第一部</p> <p>[スピーカー] Sonus faber / Amati G5</p> <p>[プリアンプ] Burmester / 088</p> <p>[パワーアンプ] Burmester / 216</p> <p>[CD プレーヤー] Burmester / 061</p> <p>[レコードプレーヤー] Dr.Feicckert / Blackbird2</p> <p>[トーンアーム] KLAUDIO / ARM-AP12</p> <p>[オーディオラック] Bassocontinuo / Classic line</p> <p>第二部</p> <p>[スピーカー] Sonus faber / Amati G5</p> <p>[プリアンプ] Burmester / 088</p> <p>[パワーアンプ] Burmester / 216 (モノラル BTL 接続、2 台仕様)</p> <p>[CD プレーヤー] Burmester / 061</p> <p>[レコードプレーヤー] Dr.Feicckert / Blackbird2</p> <p>[トーンアーム] KLAUDIO / ARM-AP12</p> <p>[オーディオラック] Bassocontinuo / Classic line</p>
場所	CYMA 試聴室 (シマムセン別館)
内容	<p>第一部は Sonus faber 新スピーカー Amati G5 の試聴をメインに行います。</p> <p>第二部では Burmester のパワーアンプの新製品 216 の試聴をメインで。</p> <p>Burmester 216 をステレオ使用と BLT 接続でモノラル使用の比較試聴を行います。</p>

3. 試聴会の経過

第一部と第二部に分かれ、第一部は Sonus faber Amati G5 中心に、第二部は Brumestar のアンプ中心に試聴が行われる予定となっていました。

機器の紹介は、Burmester の機器については第二部に回されたようで Amati G5 の紹介が詳細に行われ、アナログシステムとラックとシルテックのケーブルの紹介もありました。

試聴の方は、機材の紹介を交えながら、アナログと CD 取り混ぜて行われていきました。

1 曲目は試聴会でよくかかる女性ボーカルで、透明感のある歌唱が聴けましたが、ピアノの音が独特で、機種までは分かりませんでした。

次にアナログで、シェリングとハイティンク指揮コンセルトヘボウのチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲で、ヴァイオリンの質感やシェリングのボウイングの様子などリアルな表現でした。ただし、コンセルトヘボウの低音がこもりがちです。3曲目はアニソンのアナログ、4曲目はホリーコールトリオのCDで、CDプレーヤーとプリアンプの接続を新製品のシルテックのハイエンドケーブルに替える実験がありました。確かにケーブル交換の効果はあり、声の質感、バックの音の精度、特にベースの音の締まりの向上が認められました。

続いて、男性ボーカルものと **We are the World.** のアナログ盤がかかりましたが、クリアな音であることが分った程度です。

本来、**Sonus faber** の真価を発揮させるには、オペラのアリアとか、イタリアバロック、あるいはカンツォーネなどの曲が望ましく、選曲面では不満が残りました。**Burmester** の機器一式は、先鋭すぎるところもなく、良質のハイエンドらしい音を聴かせてくれていました。

もっとも興味を引いたのは、**Dr.Feickert** の **Blackbird2** のプレーヤーと **KLAUDIO / ARM-AP12** のトーンアームの精緻なメカニズムで、大編成オーケストラやポリフォニー音楽を聴いてみたいところです。

ARM-AP12 は、ピヴォット式のリニアトラッキング式であり、その調整のためにレーザーをあてて調整する方式が採られていました。

Dr.Feickert は、**Adjust+** というアナログの調整ツールで知られており、**Blackbird2** は、その彼が制作したプレーヤーで、**Adjust+** の活用の面でも、**KLAUDIO** のトーンアームとの組み合わせは良さそうです。

<http://www.feickert.org/index.php?id=4>

<https://www.hi-fiworld.co.uk/index.php/vinyl-lp/37-technology/161-adjust-part-i.html>

<https://www.youtube.com/watch?v=y5UGd2E9s9Q>



当日のセッティング



アナログシステム



CD プレーヤー



プリアンプ

4. まとめ

Sonus faber Amati G5 の傾向は概ね分りましたが、選曲の面から真価を知るにいたりませんでした。Brumestar の機器は良質なハイエンドの音を聴かせてくれ、Dr.Feicckert のプレーヤーとトーンアームの精緻なメカニズムに興味を惹かれました。

以上